鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成26年度(2014年度)		授業科目	船用補助機関学	
科目基礎情報							
科目番号	0081		科目区分	専門 / コース必修			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	商船学科		対象学年	5			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	船用補機の基礎: 重川亘、島田伸和(成山堂) / 船用補機: 富岡節、中村峻(海文堂) プリント配布						
担当教員	嶋岡 芳弘						
到達目標							
1) 補機の一般知識を説明できる。 2) 補機の重要構成部の特徴を説明できる。 3) 甲板補機の特徴を説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	補機の一般知識を十分に説明できる。		補機の一般知識を説明できる。		補機の一般知識を説明できない。		
評価項目2	補機の重要構成部の特徴を十分に説明できる。		補機の重要構成部の特徴を説明できる。		補機の重要構成部の特徴を説明できない。		
評価項目3	甲板補機の特徴を十分に説明できる。		甲板補機の特徴を説明できる。		甲板補機の特徴を説明できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	船舶の主機関以外の重要装置を中心に構成や作動を理解し、補機の基本的な知識を習得する。						
授業の進め方・方法	授業方法は講義を中心とする。補機の概要を理解するために、補機実験室等での実際の機器、模型や視聴覚教材を利用する。						
注意点	予習と既習事項の練習定着は基本的に受講者の責任であるが、質問は随時受付ける。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	補機の重要構成部 補機の重要構成部(1)		熱交換器の特徴を説明できる。		
		2週	補機の重要構成部(2)		油清浄装置の特徴を説明できる。		
		3週	補機の重要構成部(3)		造水装置の特徴を説明できる。		
		4週	補機の重要構成部(4)		空気調和装置の特徴を説明できる。		
		5週	補機の重要構成部(5)		圧縮空気装置の特徴を説明できる。		
		6週	補機の重要構成部(6)		油圧装置の特徴を説明できる。		
		7週	補機の重要構成部(7)		その他の補機類の特徴を説明できる。		
		8週	中間試験		中間試験		
	4thQ	9週	甲板補機の重要構成(1)		試験解説および操舵装置の機器の特徴を説明できる。		
		10週	甲板補機の重要構成(2)		操舵装置の作動原理について説明できる。		
		11週	甲板補機の重要構成(3)		イナータガス装置を説明できる。		
		12週	甲板補機の重要構成(4)		海洋生物付着防止装置の特徴を説明できる。		
		13週	甲板補機の重要構成(5)		その他の甲板補機の特徴を説明できる。		
		14週	甲板補機の運転および保守		配管装置などの特徴を説明できる。		
		15週	定期試験		定期試験		
		16週	甲板補機の故障および損傷		試験解説および蒸気トラックなどの特徴を説明できる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	20	0	0	10	30	0	0
専門的能力	30	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0